

地域学校協働活動 青りんごだより

3,4年総合的な学習 りんご畑、アーモンドの森の見学

令和6年5月号① 大谷小学校 地域活動推進員 堀志津



白田さんの畑では、子供たちと同年齢のりんごの木を観察しました。若い木と大人の木の違いに着目して見たり、蜂が花粉を運ぶ様子をじっくり見たりと、自分の調べたい部分を思い思いに観察しました。

実のなる部分を触って、「アーモンドと同じところが固くなっているよ」と発見した子供たち。「ここにりんごがなるのかな」と予想していました。次回は、まだ同じ木を観察し、摘果について教えていただく予定です。



3, 4年生の総合的な学習の時間では、朝日町の特産物について学習しています。りんご学習では、今年度も白田憲彦さん（高木）にお世話になります。4月は、花木の観察と受粉について、教えていただきました。また、朝日町の新しい特産物として、アーモンドがあると知った子供たち。道の駅近くの「アーモンドの森」を訪れ、菅井誠吾さん（和合）に畑を案内していただきました。りんごとアーモンドを同じ時期に見学できたので、二つを比べて観察する子供がたくさんいました。白田さん、菅井さん、お忙しい中ありがとうございました。

6月には、ぶどうの花も開花すると、白田甲子郎さん（大谷二）よりお聞きしています。ぶどうの学習も楽しみにしているところです。



ちょっと梅のような香り？予想と違った！



アーモンドはりんごのように木になるの？土の中にできるの？などと予想して、「アーモンドの森」へ向かいました。アーモンドの木を初めて見る子供が多く、興味津々の様子でした。花びらの枚数を数えて、6枚の花を見つけ友達に教えたり、菅井さんからおしべとめしべのことを聞いたりしました。「この後どうなるか、見てみたい！」「アーモンドはどんな味？」「アーモンドの育て方は？」と、子供たちは気になることがたくさんあるようです。引き続き、菅井さんに観察させていただくことにしました。